

須々万 朝市めぐり

其の二 和奈古土曜朝市

「ふれあいの森がよりよき住みよいまちを」
 まちづくり推進協議会会長 小田 敏雄

「自分達の住む地域は、自分達が知恵を出し行動する、自主と連帯の参加するまちづくり」を目標として、須々万地区まちづくりは推進されてまいりました。その住民の輪が実って二年前の沼城合戦まつりが大成功したと思います。須々万地区は、教育、医療、福祉、下水道、商業等の施設も整備され、女性の働く場もあります。保育園も十一月には完成し、また第二次農業集落排水事業も工事が進み三年後には須々万地区の90%の家庭に下水道が完備します。それにより農村地区では県下一の生活環境の良い地区となります。しかし、いかに生活環境がよくなるも心と心のつながりがなければ住みよい地域とは云われません。これからのまちづくりは地域の人々が気持ちよく挨拶を交わし、ふれあい、助けあうことが重要だと思われれます。少子、高齢社会になります。子どもとお年寄りが安心できるまち、だれもが住んでよかった須々万を力を合わせてつくっていきましょう。



地まじより すすすま

第58号
 平成11年7月25日
 須々万地区人口5,296人
 世帯数1,778世帯
 平成11年6月
 発行 須々万地区まちづくり
 推進協議会
 須々万公民館

地区だよりの朝市めぐりや二段は、和奈古土曜朝市です。七月十日に早起して取材に行ってきました。代表の山下さんや皆さんのお話はもちろん、買いたいものもできて収穫大の楽しい朝市取材でした。

「よろこんでもらえる、何よりそれが一番」

かからぬよう配慮もされています。地区の方々やお客様とのコミュニケーションを一番に心がけた文字、通り一から手作りの活動はまだ、まだ可能性と楽しさを秘めています。

和奈古土曜朝市 100円 D-YN

国道315号線

バス停 ココ

ゆっぴりみかま

毎週土曜日朝 4~10月 7:00~
11~3月 8:00~

「通勤時に買いたい、の声を聴いて品物が出ると、朝市が始まります。うれいかにぎ」

☀️ ひときわ目を引くのが手作りの薬草茶。ドクダミ・ゲンショウコカキの葉・うば草etcを番茶とブレンドしてあり飲みやすいです。(山下さんが糖尿病の主人のために本を片手に考案されたというお茶。)

☀️ 梅干し、粕漬けも美味。

☀️ お花は土曜に限らず、きれいに咲いたら出しています。無人の時は料金箱にお金を入れておけばOK。



「取材中にも新鮮な」

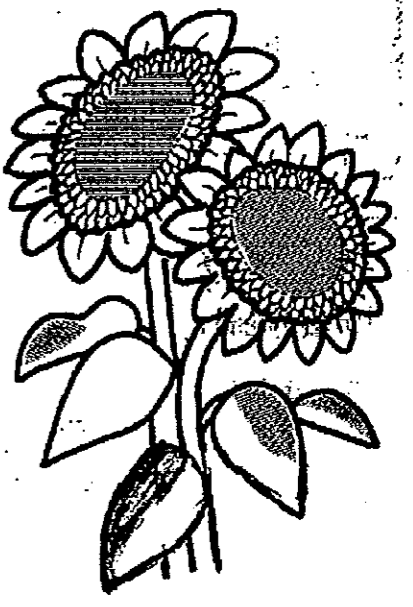
～取材にご協力下さった皆さん
ありがとうございます～

ここからの地区のおもな行事予定

- 8月13日(金) ふれあい盆踊り&花火大会
- 8月21日(土) ハ朝祭 (大名行列)
- 9月15日(水) 敬老会
- 10月17日(日) 市民運動会
- 11月4日(日) ふれあい文化祭
- 1月1日(土) 新春歩こう大会
- 2月11日(金) 周北武道大会

— ふれあいの森奉仕作業の御礼 —
 去る7月17・18日にふれあいの森奉仕作業を行いましたところ、雨天にもかかわらず250名の方に御協力いただき本当にありがとうございました。おかげをもちましてふれあいの森もきれいになり利用しやすくなりました。皆様おつかれさまでした。

— 募集中です! —
 市政施行65周年、都農町合併35周年記念事業の企画を本年度検討しています。つきましては、皆さまからのアイデア・御意見を広くお伺いしたいと思っております。問い合わせは表所まで。たくさんの御意見をお待ちしています。どうぞ よろしく お願いします!



< 分銅塚 >



むかしむかし 須々万の里に

むかしむかしの二回目はちよつとかなしいお話。さてさてそれは…

分銅塚

杉ヶ峠のトンネルをぬけると和奈古上というバス停がある。その停留所のところにむかし口屋という番所があった。番所ではそこを通る人や荷物を検査しちやうたそつじや。むかし、紙は藩の専売ちやうて、藩の大切な収入源じやった。そこで紙や、紙の原料になる、こうぞを、よその藩に持ち出すのを禁止しちやうた。口屋番は「紙や、こうぞを持ち出すもんはおらんか」と見張ちやうたそつじや。

ある日、谷清兵衛という口屋番が、どこからかうわさを聞いてきた。「なんでも朝早うに番所をとらんで、東の山道をこえて徳山へ紙をほんじよるらしい。きつと捕まえてやるぞ。」

口屋番の谷清兵衛はつぎの朝、夜の明けんうちにうわさの山道に入り木かげにかくれてじつと待ちぶせしちやうた。

東の空がちいと白みかけたころ、早足でかけてくるわらじの足音がササササと聞こえ、そして黒い人影が近づいてきた。

息をこらして待ちちやうた谷清兵衛は、パツとどび出してまえに立ちのびた。たんじや。

すると、持ち出し禁止の紙を背負うた男が、びっくりして声も出せずに口をあけたまま立ちすくんでしもつたそつじや。

「捕えたぞ。もう逃がさんぞ。」

谷清兵衛は、男の肩を大きな手でぐわつとつかんだ。

「こらえてつかやれませ。おたのみ申します。」

紙を背負うた男はすわりこんでバツタのように、ペコペコと頭を下げながらたのんだそつじや。



(さしえ：島利栄子 ~ とくやま昔話)

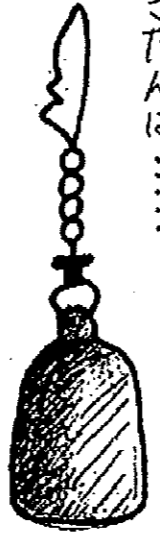
「とにかく番所までこい。」

谷清兵衛は男を番所までつれていった。

「紙をどれだけ持ち出すつもりじやうたんか。量るから待ちちやうたれ。」

そつじや、大きな分銅ばかり(秤)で紙をつるして、目盛りを読もうとした。

そのときじや、おそろしいことがおきたんは…。



いままでうなだれちやうた男が、いきなりはかりの分銅を引きぬいて、その分銅で谷清兵衛を思いきりなぐつたんじや。

谷清兵衛はその場にどつと倒れた。それでも男はなぐりつづけて、とうとう殺してしもつた。いぼりちらす口屋番が、ひどつにくかつたんかのつ。



そのとき村は大やわぎになつたそつじや。

谷清兵衛のなきがらは、はていぬいにほうむられて墓が建てられ、村の人たちはその墓を分銅塚というたそつじや。

男は捕まて、すぐにおしおき場で殺されたとか、また逃げて捕まらんじやうたとかいわれちやうる。

分銅塚のある場所はその後すかり竹やぶにおおわれ、しもうたが、昭和五十七年八月に、近くの万福寺の住職さんが、いあわせ地蔵のとなりに移して、あつくまつられてる。

今回の昔話は須々万在住の向谷喜久江さんが出版された「とくやま昔話」の中から書きつづしたものです。(文頭は少し変えています。)

HERB 通信 ~ ハーブに魅せられて ~

ハーブは とても不思議な植物。素敵な香りで私たちの毎日の生活を楽しくしてくれます。わがまち 須々万でも “ハーブ大好き” の仲間が集まって ハーブについて色々勉強しています。

🌿 ハーブ・ファーマーズクラブ (20名)
ハーブの好きな仲間が 旧たから跡地に いろんなハーブを育てています。

🌿 ハーブ・お菓子の家 (18名)
ハーブを使ったお菓子や料理を作って食べる ことで ハーブを楽しんでいます。



編集後記
梅雨も明け、いよいよ夏本番。暑い毎日が続きますが、これから お祭りや花火大会など、この季節ならではの行事も盛りだくさんです。夏バテせずに、須々万の夏を楽しみましょう!!